

研究データに関する研究者の実態とニーズの 把握のための調査の手引き

1. はじめに

この手引きは、各会員館における研究データに関する研究者の実態とニーズの把握を助けるものである。

作成の背景は、2019年6月開催の国立大学図書館協会総会研究集会において、当委員会から提示した「オープンサイエンスに向けて国立大学図書館が担う具体的役割」の中で、「各会員館は、先ず自らの大学で行われている研究の特性を正しく把握することから始めることが肝要である」と表明したことによる。

調査方法は、アンケート調査と個別インタビュー調査の2段階を想定している。

アンケート調査では、自機関の研究データの実情を全体的に把握するとともに、研究データに関心の深い研究者を捕捉することを目的としている。個別インタビュー調査では、アンケート調査で捕捉した研究者に対し、研究分野に応じた個々の事情を詳細に把握し、今後図書館として研究データ管理にどのように関与し、取り組んでいくべきか判断する材料とすることを目的としている。

2. アンケート調査

● 目的

- ・ 自機関の研究データの実情および研究者の研究データに関する意識を把握
- ・ インタビュー調査の対象となる研究者の捕捉
- ・ 執行部・研究推進部門・情報系センター・研究者等、研究活動に関わる組織等における研究データに対する意識啓発及び情報共有

● 実施方法

- ・ 「大学における研究データ管理に関するアンケート」(雛形)の利用を推奨

【URL】 <https://rdm.axies.jp/sig/24/>

※ 上記雛形は、2019年4月に名古屋大学情報連携統括本部で実施されたアンケートを参考に、大学ICT推進協議会研究データマネジメント部会(AXIES-RDM部会)が作成・公開したものである。雛形作成にあたっては、当委員会の委員長館である北海道大学附属図書館からAXIES-RDM部会にメンバーを出して議論に参加した。

- ・ 上記の雛形に、必要に応じて大学独自の質問を追加
- ・ 管理基盤や研究公正については自機関の担当部署・部門との協力を推奨
- ・ アンケートには、研究データと研究データ管理の定義・範囲、学術機関による研究データ管理を取り巻く状況、自機関における研究データ管理に関する取組等の説明を加えることを推奨
- 調査対象
 - ・ 主に研究者（教員）
 - （※機関の実情に応じ、大学院生等を含めても良い）
- 調査項目
 - ・ アンケート雛形に基づく項目（※【 】は雛形の項目番号等との対応を示す）
 - ・ 回答者氏名・メールアドレス【回答者属性：2、3】
 - （※任意回答で構わないが、インタビュー調査に繋げる場合は必須）
 - ・ 回答者所属・職位【回答者属性：1、4】
 - ・ 回答者研究分野【回答者属性：5】
 - （※アンケート雛形では、総務省統計局「平成30年度科学技術研究調査」の学問別区分を利用）
 - ・ 研究データ管理に関する動向の認知度【1】
 - ・ 学内規程の認知度【2】
 - ・ 研究データの保管方法【3】
 - ・ バックアップの実施状況【4】
 - ・ 論文根拠研究データの保管状況【5】
 - ・ 機関が用意する研究データ管理基盤で保管したい研究データの規模・タイプ・詳細【6】
 - ・ 公開可能な研究データの規模・タイプ・詳細【7】
 - ・ 研究データの公開・共有状況【8】
 - ・ 機関による研究データ管理基盤に期待する事項【9】
 - ・ 研究データ公開に期待する事項【10】
 - ・ 本学の研究データ管理についての意見（※自由記述）【11】
 - ・ その他に想定される項目
 - ・ 過去に公開していたが、現在公開できていない研究データの有無・規模・タイプ・詳細
 - ・ 外部資金申請の際に研究データ管理計画の提出を求められた経験の有無
 - ・ 論文投稿の際に研究データ提出や公開を求められた経験の有無
 - ・ 他の研究者の研究データの利用経験の有無

3. 個別インタビュー調査

- 目的
 - ・ 研究者に直接インタビューすることにより、各研究分野における研究データの特徴や、研究者が必要とする支援の内容を把握

- ・ 研究データに関する講演会・セミナー・広報活動等の必要性や実現可能性を確認
- ・ 研究データの管理・公開の試行に協力していただけたような研究者を捕捉
- 実施方法
 - ・ 別紙「個別インタビュー調査（雛形）」の利用を推奨
 - ※ 上記雛形は、2019年2月に千葉大学で実施された個別インタビュー調査を参考に作成したもの
 - ・ 上記雛形を元に、必要に応じて項目を追加、または取捨選択して利用
 - ※ オープンアクセス、機関リポジトリ、電子ジャーナル、APC 等に関する調査を同時に実施することとし、関連項目を追加することも考えられる
- 調査対象
 - ・ 研究データに関心が高い研究者（教員）に対し個別に実施
- 調査の事前準備
 - ・ 研究者の専門分野・研究テーマ・研究業績・獲得した外部資金等の確認
 - ・ 研究に必要なデータや作成される研究データの把握（大まかなイメージで良い）
 - ・ 事前にアンケート調査を実施している場合は、インタビューする項目と調整が必要
- 調査項目（※【 】は雛形の項目番号との対応を示す）
 - ・ 研究活動と研究データ【1】
 - ・ 研究データの管理・共有【2】
 - ・ 論文と研究データ【3】
 - ・ 研究データの公開【4】
 - ・ 研究データの利用・引用【5】
 - ・ 研究分野別リポジトリの利用【6】
 - ・ 研究計画・研究資金【7】
 - ・ その他研究上で困っていること【8】

個別インタビュー調査（雛形）

- 1 研究活動と研究データ
 - 1.1 こちらで調査したところ、先生の研究テーマは〇〇〇とのことですが、研究内容の概要を教えてください。
 - 1.2 研究・調査はどのように進めておられますか？特に研究活動のサイクルと研究データの利用・作成のタイミングについてご教示ください。
 - 1.3 研究データと言われたときに、どのようなものを思い浮かべますか？
- 2 研究データの管理・共有
 - 2.1 研究データはどのように保管していますか？
 - 2.2 保管している研究データはどのくらいの規模ですか？
 - 2.3 保管している研究データはどんなタイプのデータですか？
 - 2.4 研究データのバックアップは定期的にとっていますか？また、バックアップをとっている場合はどのくらいの頻度ですか？
 - 2.5 研究データのバージョン管理はどのようにされていますか？
 - 2.6 共同研究者の方との共有はどのようにしてやっておられますか？
 - 2.7 研究データの管理について、どのようなサポートが欲しいと考えていますか？
- 3 論文と研究データ
 - 3.1 論文を書くときに、根拠となる研究データはどのように記載しますか？
 - 3.2 雑誌に論文を投稿する際に研究データの提出や公開を求められたことはありますか？
 - 3.3 論文の根拠となる研究データは保管されていますか？保管されている場合は、いつ頃の論文からですか？
- 4 研究データの公開
 - 4.1 研究データを公開されたことはありますか？
 - 4.1.1 （ある場合）どのように公開されていますか？また、公開のメリットを感じられたことはありますか？公開した研究データに DOI は付与されていますか？
 - 4.1.2 （ない場合）公開されたことがない理由があれば、教えてください。また、公開する上で障害となることは何でしょうか？

- 4.2 過去に公開していたが、公開できなくなっている研究データはありますか？
 - 4.2.1 (ある場合) どのような事情で公開できなくなったのでしょうか？
 - 4.2.2 (ある場合) 公開していた研究データの規模やデータのタイプを教えてください。
 - 4.2.3 (図書館でのレスキューの可能性が見込まれる場合) その研究データを図書館の機関リポジトリで公開することを希望されますか？
- 4.3 事情により公開できない研究データはありますか？
 - 4.3.1 (ある場合) 公開できない理由はどのようなものなのでしょうか。
 - 4.3.2 (ある場合) 公開できない研究データをどのように保存・管理していますか？
- 4.4 研究データの公開について、どのようなサポートが欲しいと考えていますか？
- 5 研究データの利用・引用
 - 5.1 他の研究者の作成した研究データを利用されたことはありますか？
 - 5.1.1 (ある場合) 研究データはどのように入手されましたか？
 - 5.1.2 (ある場合) 論文に他の研究者の研究データを引用されたことがありますか？引用された場合、どのように表現されましたか？
 - 5.2 他人の論文を読む時に、根拠データを確認することはありますか？
- 6 研究分野別リポジトリの利用
 - 6.1 先生の研究分野では、研究データの共有や公開のための仕組みはありますか？
 - 6.2 先生ご自身がよく使っている、論文や研究データの公開のためのリポジトリはありますか？
- 7 研究計画・研究資金
 - 7.1 研究資金は主にどこから獲得されていますか？
 - 7.2 助成団体から、データ管理計画も提出するように求められたことがありますか？
 - 7.3 助成団体から、論文や研究データを公開するように求められたことはありますか？
 - 7.4 研究成果を発表するときに、助成金情報はどのように表示されていますか？
- 8 そのほか、研究を進める過程で「こんな点で困っている」ということはありますか？